

教育課程上の名称		「青龍タイム」					
学校において定める目標		グローバルな課題解決に挑み、持続可能な社会づくりに貢献する起業家となる基礎を育む学校 (1) 豊かな人間性とコミュニケーション能力を育てる。 (2) 確かな学力を身に付ける学習活動の充実に努める。 (3) 地域資源を活用した探究活動を推進する。 (4) 計画的・継続的な国際教育の充実に努める。 (5) 危機管理を徹底し、校内外での事故防止と健康・安全で安心な学校づくりに努める。 (6) 教育活動の広報体制の充実に努める。					
講座編成及び授業担当者		クラス単位で編成。40名の生徒につき、4人の教員で指導する。 授業担当者は、海外研修を通して、日本の文化と異文化を比較検討し、異文化理解における課題を探索し、最適な課題解決策を創出できるよう指導する。 また、課題解決策を創出する際には、国際的な視野から最適解を選択することやICTを活用・グループワークなどを取り入れて指導する。					
設定時間			( 水曜日 4、5時限目)		単位数(2)		
時期月曜日	探究課題	指導時数	探究の過程(時数)	学習活動(学習のねらい)	探究課題を通して育成を目指す資質・能力	主な言語活動	他教科等との関連
4月	異文化理解とその課題について、解決策を提案しよう	4	課題の設定・情報収集	①探究活動(「青龍タイム」)のガイダンスを行い、探究学習の目的や学習の仕方について知る。 ②キャリアパスポートを使って、1年生の見通しを持ち、学習と特別活動の目標を立てる。 ③インターネットを活用し、異文化について調べる。	個別の知識や技能 学びに向かう力・人間性等	ポートフォリオ ワークシート 話し合い活動 振り返りシート	キャリア教育 社会 国語 英語 情報教育
5~7月		22		①異文化理解の観点から新聞や書籍、インターネットを使って、海外の文化の特徴について調べる。 ②文化の違いに着目し、課題を探してみる。 ③発見した課題について文章化し、自らの課題意識を高める。 ④クラスで課題を共有し、研究分野ごとにグループを作る。 ⑤グループ内で解決する課題を再確認する。興味のあるテーマの焦点を絞り、海外研修で調べる必要がある内容を決定する。 ⑥学習内容の見通しを立てて、探究計画書を作成する。 ⑦ルーブリック評価を使って、学習のねらいを確認する。 (夏季休業中の課題として情報収集を始めることとする)	個別の知識や技能 思考力・判断力・表現力等 学びに向かう力・人間性等	ワークシート 話し合い活動 探究活動計画表 ポートフォリオ ルーブリック評価表 振り返りシート 中間報告会	キャリア教育 社会 国語 理科 英語 道徳 情報教育
8月		20		①海外研修に向けた研究課題に関する校内中間発表会を実施する。 ②発信の方法に応じたマナー等を学習する。 ③相互評価を行い、課題設定や検証内容の方向性について必要に応じて修正する。	個別の知識や技能 思考力・判断力・表現力等 学びに向かう力・人間性等	ワークシート ポートフォリオ 振り返りシート 話し合い	キャリア教育 英語 国語 社会 英語 理科 情報教育
9月~11月		14		①探究計画書をもとに、海外研修により得た情報について整理し、グループで扱うテーマを再考する。 ②整理した情報を異文化理解に関連付けてグループで分析する。	個別の知識や技能 思考力・判断力・表現力等	話し合い ワークシート 相互評価表 振り返りシート ポートフォリオ 探究活動計画表	特別活動 国語 社会 英語 理科 道徳 情報教育
12~1月		10		①「AIチャレンジ」の研修を受講する。 ②最適な課題解決策をAIを活用して創出する。	個別の知識や技能 思考力・判断力・表現力等	ワークシート 振り返りシート 話し合い	国語 英語 技術 情報教育
2月~3月		10		①課題解決に向けて、プレゼンテーション資料を作成する。 ②校内成果発表会(中高連携)を実施する。 ③聞き手に「伝える」表現方法を学ぶ。英語で概要説明する方法を学ぶ。想定される質問の回答を用意する。 ④「5校連携探究活動成果発表会」を実施する。 ⑤発表や質疑応答を通して、自己理解を深め、茨城の未来について考えを深める。 ⑥蓄積したポートフォリオとキャリアパスポートを使って、1年間の学習を振り返る。	個別の知識や技能 思考力・判断力・表現力等 学びに向かう力・人間性等	ワークシート 成果発表発表 相互評価表 他校との意見交換 振り返りシート ポートフォリオ	国語 社会 理科 英語 情報教育 特別活動 道徳
指導時間数の計		70					